



電子マネーカード取扱店舗対象の詐欺電話に注意!

～ 富山市内の電子マネーカード取扱店舗が被害となる詐欺事案が発生!! ～
手口は、従業員が少ない夜間、店舗の固定電話に電話をかけ、女性の声で「管理会社の社員」を名乗り、「新しいシステムを導入したので、アップデートされているかを確認しています」、「確認作業のため、電子マネーカードをレジに持ってきてください」などと指示し、レジで売上入力をさせた後、利用に必要な裏面のコード番号を伝えさせるというものです。この手口は、全国で被害が確認されています。

下記資料は、「ファミリーマート従業員用注意喚起資料」として作成されたもので、同種事案の注意喚起にあたって、ファミリーマート本社から使用許諾をいただいているものです。他店舗の皆様も、注意喚起の参考としてください。

※ オペレーションマニュアル等の記載がありますが、ファミリーマート以外の電子マネーカード取扱店舗の皆様は、自店舗のマニュアル等に従ってください。



ファミリーマート作成資料

ストアスタッフへ

詐欺電話に注意!

店舗に電話がかかってきて POSAカードをレジでスキャン登録するように指示されたら詐欺です!

※ POSAカードについて、本部や取引先などが店舗へ直接電話をすることはありません。

対応

- ① 指示に従わず、電話を切る。
- ② 店長・マネージャー、または営業所・緊急あんしんダイヤル(夜間)に連絡する。

もし、スキャン登録したカード番号を相手に伝えてしまったときは

- ・レジにて取消操作を行う オペレーションマニュアル 5 16 8)
- 取消が完了しない場合 カード裏面に記載されたお問合わせ先へ速やかに連絡

詐欺グループの手口

- 手口① 詐欺グループは、電話で「本部」、「システム会社」、「POSAカード会社」など実在の企業をかたり「POSAカードのテスト」、「レジのシステムチェック」、「レジが使用できなくなる」などの口実でストアスタッフに POSAカードをレジスキャン登録させ、そのカード番号を伝えるよう指示する。(夜勤の時間帯に集中)
- 手口② 詐欺グループは、下調べをした「店長」や「マネージャー」の個人名を出し「女性オペレーターの声」で、ストアスタッフを安心させる。
- 手口③ 詐欺グループは、POSAカードをレジスキャン登録した際に発生するレジ不足金は「後日、本部が修正処理する」と伝えストアスタッフを安心させる。

犯人の手口です

犯人は、人手が手薄な夜間の時間帯を狙って架電してきています。不審な電話に注意してください!!



作成元

富山県警察本部生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係
電話: 076(441)2211(代表)